

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立ゆずりはら青少年自然の里	所管課	社会教育課
所在地	上野原市桐原13880	設置年月日 (改築年月日等)	平成10年7月14日
管理方式	指定管理者(上野原市、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例		
設置目的	自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。 主催事業の実施を通じ、自然の中でふるさとを愛するたくましい青少年を育成する機会を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	宿泊棟:一般棟(26人)×3、家族棟(4人)×4、身障者棟(2人)×1、(4人)×1 食堂(96人)、ラウンジ(20人)、多目的ホール(150人) キャンプ場:テント(10人)×10、炊事場、トイレ		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 地域における生活文化の経験学習に関する業務 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 野外活動及びレクリエーションに関する業務 その他教育委員会が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	上野原市立地域交流館 山梨県立なかとみ青少年自然の里: 定員108人 山梨県立愛宕山少年自然の家: 定員150人 山梨県立八ヶ岳少年自然の家: 定員210人
---------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	宿泊棟利用	7,197	8,567	8,684	
	キャンプ場宿泊利用	872	984	1,085	
	日帰り利用	1,362	1,809	2,092	
	利用者数合計	9,431	11,360	11,861	
	目標値	10,000	10,000	12,000	12,000
	目標値設定の考え方	少子化による各団体の構成員の減少と東日本大震災の影響による4月以降のキャンセルを勘案して調整			
	対23年度比	100.0%	120.5%	125.8%	127.2%
稼働率		60.0%	69.0%	67.0%	

4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	34,360,000	33,948,000	33,948,000	35,176,000
	その他	1,616,067	0	2,016,968	0
	収入合計(A)	35,976,067	33,948,000	35,964,968	35,176,000
支出	人件費	20,108,143	17,989,000	20,228,095	20,271,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	15,867,924	15,959,000	13,719,905	14,905,000
	(うち外部委託費)(B)	5,371,013	4,743,000	4,343,131	4,627,000
	支出合計(C)	35,976,067	33,948,000	33,948,000	35,176,000
収支差額(A - C)		0	0	2,016,968	0
外部委託比率(B ÷ C)		14.9%	14.0%	12.8%	13.2%
利用者一人当りの経費		3,025	2,829	2,862	2,931

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成25年4月～26年3月、実施方法:県立ゆずりはら青少年自然の里利用団体へのアンケート、回答数:51団体
-------	--

単位:%

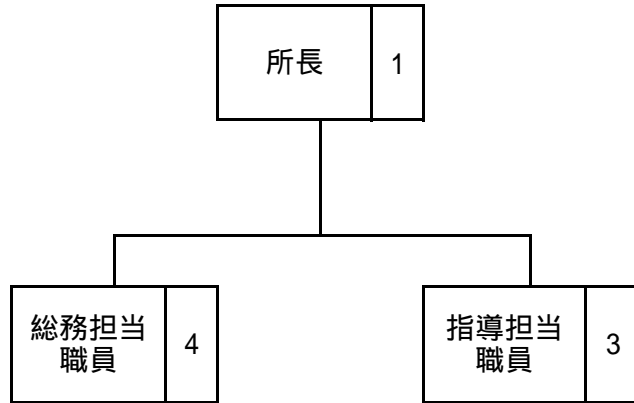
調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
利用料金	86.0%	0.0%	4.0%	10.0%
申し込み方法	86.0%	0.0%	2.0%	12.0%
設備・備品の状況	86.0%	0.0%	4.0%	10.0%
活動内容	88.0%	6.0%	0.0%	6.0%
利用全般の満足度	90.0%	6.0%	0.0%	4.0%
食堂の食事について	76.0%	6.0%	8.0%	10.0%
各項目の平均	85.3%	3.0%	3.0%	8.7%

利用者の意見	施設がきれい使いやすい。スタッフが対応が親切。 道が狭くマイクロバスでも入れるようにしてもらいたい。また、車以外のアクセスが不便。 野外炊飯用の道具を貸し出してほしい。 食事の料金が安い。
利用者の意見への対応	利用者に気持ちよく利用していただけるように、日常清掃には細かく注意を行っている。 県道からの道が狭いために車のすれ違いができない箇所があり不便であるので、注意看板及び案内看板等も設置した。 バスについては、団体の要望で臨時バス便の対応も行っている。 食事については、委託業者と話し合い、より一層安全で摂取できることを一番に考え、少しでも食材を安く納品できるよう委託業者との話し合いを行っている。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	利用者に気持ちよく利用していただくように、職員等も清掃に力を入れ、業者によるワックスがけ、高窓拭きなど、常に快適な環境づくりに努めている。	維持管理については、とてもきれいに管理されていて、利用者にとって気持ちよい場所を提供している。
運營業務	利用団体のニーズ多様化の中、入退所時間を柔軟に対応したり、休日に運営するなど団体の利便性に配慮した。また、広報活動等にも工夫している。	県外団体の申込を1年前からできるようにするなど、利用者の利便性向上の取り組みが行われた。その成果などが利用者増加へつながっている。今後も積極的に広報活動など行ってほしい。
自主事業		
利用状況	利用料金が安いことや都内に近い距離にあるためリピーターが多い。今後も利用者数増に向けて、県外(都内方面等)により一層のPRを行う。	県外団体の利用がほとんどを占めることから、県内はもちろん県外の団体に対しても積極的にPRを行い、リピーターの他に新規で利用する団体を作っていきたい。
収支状況	築16年になり老朽化してきたため、職員にできる修繕は積極的に対応し経費節減に努めている。	施設・設備の経年劣化もあり修繕に要する経費が増加する中、職員が工夫して補修するなど、経費削減に努めている。
利用者満足度	利用者の意見を参考にしながら改善し、接客の心得として利用者に満足していただけるように、常に利用者の気持ちを考え、初心を忘れず笑顔での対応を心がけている。	利用者アンケートからは、利用について満足したという意見が多く、施設の努力がうかがえる。今後も利用者の要望等にもできるだけ応えて、質の高いサービスを提供してほしい。
運営目標の達成状況	<p>H25 利用者数目標値 12,000人 実績 11,861人 H25 主催事業参加者数目標値 1,200人 実績 1,534人 利用者は、目標の12,000人を超えることができなかったが、前年度より上回る利用となった。 主催事業については、新しい事業を取り入れたり、PR活動の強化により目標を超える利用となった。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>利用者のアンケートにもあるように、施設内外ともにきれいに管理され、利用者が快適に活動できている。利用者数目標値を12,000人にしてPR活動を強化した結果、それに近づく11,861人に増加することができた。主催事業参加者数については、魅力ある主催事業を行うことによって目標値1,200人に対して1,534人を達成することができた。 今後も魅力ある事業の開発やPR活動で利用者数、主催事業参加者数ともに増加させたい。また、利用者からの要望があるので、できる範囲において工夫して改善を図りたい。</p>	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>施設管理に努めた結果、施設利用の満足度も高い。また、新規の主催事業やPR活動強化により、施設利用者、主催事業参加者数も増加し、その成果が見られた。 利用者の要望には、食事の内容とその利用料金に関するものが多いので、業務委託している業者と綿密に連絡を取り合い、要望に対する改善を少しでも図りたい。</p>	

7 管理体制(組織図)



所長	1人
総務担当職員	4人
指導担当職員	3人
合計	8人